

第 12 期 決 算 公 告

株式会社 Yottavias

東京都千代田区麹町三丁目 3 番 4 号
KDX 麹町ビル 5 階

代表取締役 高岡 悦幸

貸 借 対 照 表

(2025年1月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	378,646	流動負債	162,797
現金及び預金	292,755	買掛金	48,007
売掛金	66,585	1年内返済予定の長期借入金	78,972
貯蔵品	5,577	未払金	7,614
前払費用	2,766	未払費用	6,524
未収還付法人税等	4,113	未払法人税等	90
その他	6,848	未払消費税等	4,222
		預り金	867
		賞与引当金	1,066
		販売促進引当金	11,035
		その他	4,396
固定資産	57,650	固定負債	113,392
有形固定資産	17,669	長期借入金	105,510
建物	13,740	資産除去債務	7,882
工具器具備品	3,929	負 債 の 部 合 計	276,190
無形固定資産	436	純 資 産 の 部	
ソフトウェア	436	株主資本	160,107
投資その他の資産	39,544	資本金	20,000
出資金	40	利益剰余金	186,507
敷金及び保証金	34,538	その他利益剰余金	186,507
繰延税金資産	4,966	繰越利益剰余金	186,507
		自己株式	△ 46,400
		純 資 産 の 部 合 計	160,107
資 産 の 部 合 計	436,297	負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	436,297

損 益 計 算 書

〔 自 2024年2月 1日
至 2025年1月31日 〕

(単位:千円)

科 目		金	額
I	売 上 高		755,143
II	売 上 原 価		483,209
	売 上 総 利 益		271,934
III	販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		244,740
	営 業 利 益		27,193
IV	営 業 外 収 益		
	受 取 利 息	18	
	受 取 配 当 金	0	
	そ の 他	1	20
V	営 業 外 費 用		
	支 払 利 息	1,903	
	そ の 他	1	1,904
	経 常 利 益		25,309
	税 引 前 当 期 純 利 益		25,309
	法人税、住民税及び事業税	3,394	
	法 人 税 等 調 整 額	4,218	7,612
	当 期 純 利 益		17,696

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

〔 自 2024年2月 1日
至 2025年1月31日 〕

(単位:千円)

	株主資本					純資産 合計
	資本金	利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		その他	利益剰余金 合計			
		利益剰余金 繰越利益 剰余金				
当期首残高	20,000	168,810	168,810	△ 46,400	142,410	142,410
事業年度中の変動額						
当期純利益		17,696	17,696		17,696	17,696
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額(純額)						-
事業年度中の変動額合計	-	17,696	17,696	-	17,696	17,696
当期末残高	20,000	186,507	186,507	△ 46,400	160,107	160,107

個 別 注 記 表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品

最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定)

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

定率法を採用しております。なお2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については定額法を採用しております。

主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	8年～18年
工具器具及び備品	5年～15年

②無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいております。

(3) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上することとしております。

②賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当事業年度に見合う分を計上しております。

③販売促進引当金

大手通信キャリアが提供するサービスのユーザーに対して付与したインセンティブに基づく販売促進費の支出に備えるため、過去の実績を基礎として将来発生見込額を計上しております。

(4) 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点(収益を認識する通常の時点)は次のとおりであります。

取次による収益は、主に大手通信キャリアが提供するサービスの取次による手数料であり、その取次に関する履行義務は大手通信キャリアがその便益を享受した時点で充足すると判断し、収益を計上しております。具体的には当社の上位代理店から受領する取次業務の成約明細の通知に基づき売上を計上しております。

ソフトウェアライセンスにおける収益は、主にセキュリティ関連のソフトウェアライセンスの提供によるものであり、この履行義務は、約束した財又はサービスを顧客に引き渡した時点で充足すると判断しております。そのため、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で収益を認識しております。

2. 貸借対照表に関する注記

- (1) 有形固定資産の減価償却累計額 4,516千円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

- (1) 当該事業年度の末日における発行済株式の種類及び数
普通株式 400,000株
- (2) 当該事業年度の末日における自己株式の種類及び数
普通株式 14,500株

4. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

①金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については預金等の安全性の高い金融資産で行い、また資金調達については主に銀行等金融機関からの借入により行っております。なお、デリバティブを含む投機的な取引は行わない方針であります。

②金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である売掛金は、顧客の信用リスクに晒されております。

未収還付法人税等は、法人税、住民税及び事業税に係る債権であり、1年以内に還付期日が到来します。

敷金及び保証金は、取引先の信用リスクに晒されております。

営業債務である買掛金は、その全てが1年以内の支払期日であります。

未払金、未払費用、未払法人税等、未払消費税等、預り金はその全てが1年以内の支払期日であります。

長期借入金は、運転資金に係る資金調達を目的としたものであり、その返済日は最長で決算日後5年であります。なお、長期借入金のうち一部は金利の変動リスクに晒されております。

③金融商品に係るリスク管理体制

1. 信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

当社は、営業債権について主要な取引先の状況を経営管理部が定期的にモニタリングし、取引相手ごとに期日及び残高を管理するとともに、財務状況等の悪化等による回収懸念の早期把握や軽減を図っております。

2. 市場リスク（金利等の変動リスク）の管理

借入金については、市場金利の動向を継続的に把握することにより、金利の変動リスクを管理しております。

3. 資金調達に係る流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

営業債務及び借入金については、月次単位での支払予定を把握するとともに、手許流動性の維持などにより流動性リスクを管理しております。

④金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。

⑤信用リスクの集中

当期の決算日現在における営業債権のうち74.7%が特定の大口顧客に対するものであります。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

2025年1月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、市場価格のない株式等は、次表には含めておりません(※1を参照ください)。「現金及び預金」、「売掛金」、「未収還付法人税等」、「買掛金」、「未払金」、「未払費用」、「未払法人税等」、「未払消費税等」、「預り金」については、現金であること及び短期間で決済されるため、時価が帳簿価額に近似することから注記を省略しております。

	貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
敷金及び保証金	34,538	32,405	△2,133
資産計	34,538	32,405	△2,133
長期借入金 (1年内返済予定の長期借入金を含む)	184,482	183,641	△840
負債計	184,482	183,641	△840

(※1) 市場価格のない株式等

区分	貸借対照表計上額 (千円)
出資金	40

(注1) 金銭債権の決算日後の償還予定額

	1年以内 (千円)	1年超5年以内 (千円)	5年超10年以内 (千円)	10年超 (千円)
現金及び預金	292,755	-	-	-
売掛金	66,585	-	-	-
未収還付法人税等	4,113	-	-	-
合計	363,454	-	-	-

(注2) 長期借入金の決算日後の返済予定額

	1年以内 (千円)	1年超 2年以内 (千円)	2年超 3年以内 (千円)	3年超 4年以内 (千円)	4年超 5年以内 (千円)	5年超 (千円)
長期借入金	78,972	66,476	26,566	9,968	2,500	-

(3) 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しています。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産または負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しています。

①時価をもって貸借対照表計上額とする金融商品

該当事項はありません。

②時価をもって貸借対照表計上額としない金融商品

区分	時価（千円）			
	レベル 1	レベル 2	レベル 3	合計
敷金及び保証金	-	32,405	-	32,405
資産計	-	32,405	-	32,405
長期借入金 (1 年内返済予定の長期借入金を含む)	-	183,641	-	183,641
負債計	-	183,641	-	183,641

(注)時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

敷金及び保証金

これらの時価について、その将来キャッシュ・フローを安全性の高い長期の債券の利回りで割り引いた現在価値により算定しており、レベル 2 の時価に分類しております。

長期借入金

長期借入金のうち、変動金利によるものの時価は、短期間で市場金利を反映し、また、当社の信用状態は実行後大きく異なっていないことから、時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額によっており、レベル 2 の時価に分類しております。

また、固定金利によるものの時価は、一定の期間ごとに区分した当該長期借入金の元利金の合計額を新規に同様の借入を行った場合に想定される利率で割り引いて現在価値を算定しており、レベル 2 の時価に分類しております。

5. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

減価償却超過額	44 千円
未払費用	134 千円
賞与引当金	368 千円
販売促進引当金	3,817 千円
資産除去債務	2,726 千円
繰延税金資産小計	7,091 千円
評価性引当額	-千円
繰延税金資産合計	7,091 千円

繰延税金負債

未収事業税	△396 千円
資産除去債務に対応する除去費用	△1,728 千円
繰延税金負債合計	△2,125 千円
繰延税金資産純額	4,966 千円

6. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額	415円32銭
(2) 1株当たり当期純利益	45円91銭

7. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。